

【オンライン開催】令和2年度神戸市ソーシャルビジネス推進委員会 次第

■日 時：令和3年2月15日(月) 15時～16時15分

■場 所：神戸市役所1号館11階PTルーム

■委 員：加藤 恵正（兵庫県立大学減災復興政策研究科）

中塚 博和（日本政策金融公庫神戸創業支援センター）

内橋 秀明（兵庫県中小企業家同友会）

小倉 譲（特定非営利活動法人しゃらく）

飛田 敦子（特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸）

能島 裕介（特定非営利活動法人ブレンヒューマニティー）

石原 淳（生活協同組合コープこうべ）

八木 美咲（神戸市産業振興財団）

■神戸市：つなぐラボ担当課長 黒子真寸美、担当係長 魚山純子、担当 織田俊明・堀 翔一郎

■内 容：

1. 開会(15:00-15:05)

-事務局より（本委員会について、委員長の指名について）

-委員長ご挨拶

2. 委員間の情報及び問題意識の共有（15:05-15:25）

3. 神戸市からの報告（15:25-15:50）

(1) KOBEソーシャルビジネスマーク認証制度改正報告について[別紙1]

(2) KOBEソーシャルビジネスマーク認証 [モデル事業]（令和元年度）について[別紙2]

(3) 神戸市ソーシャルビジネス推進助成（令和2年度）について[別紙3]

(4) ソーシャルビジネスセミナー（令和2年度）について[別紙4]

(5) 神戸ソーシャルブリッジ事業（令和2年度）について[別紙5]

(6) 令和2年度「協働と参画」推進助成事業（令和2年度）について[別紙6]

(7) KOBE社会貢献プラットフォーム（※）のKIITOへの移転について

※神戸ソーシャルキャンパス、神戸ソーシャルブリッジ、協働と参画のプラットホーム

(8) 令和3年度以降のソーシャルビジネス推進事業について

4. 意見交換（15:50-16:10）

・ソーシャルビジネス推進事業全般に係る意見交換

5. 閉会（16:10-16:15）

令和2年度神戸市ソーシャルビジネス推進委員会 委員名簿

(委員)

氏名	所属・役割	備考
加藤 恵正	兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授	学識経験者
中塚 博和	日本政策金融公庫 神戸創業支援センター 所長	金融機関
内橋 秀明	兵庫県中小企業家同友会 事務局長	営利企業関係者
小倉 譲	特定非営利活動法人しゃらく 代表理事	NPO
飛田 敦子	特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸 理事	NPO
能島 裕介	特定非営利活動法人ブレインヒューマニティー 顧問	NPO
石原 淳	生活協同組合コープこうべ 執行役員	協同組合関係者
八木 美咲	公益財団法人神戸市産業振興財団 創業・新事業支援部長	神戸市外郭団体

制度・要綱改正趣旨

1. ソーシャルビジネス推進事業の経緯

- ・平成 22 年度～24 年度に開催した、ソーシャルビジネス円卓会議での提言を受け、支援策のひとつとして平成 24 年度予算要求（臨時）し、平成 25 年度より事業開始。
- ・当初よりソーシャルビジネス推進助成（以下 SB 助成）の種類は 2 種類。
（①準備・創業期、②発展期）
- ・KOBE ソーシャルビジネスマーク認証制度（以下 SB マーク認証）も 2 種類。
（①スタートアップ事業、②モデル事業）
- ・平成 28 年度、SB マーク認証のカラー化に合わせ名称変更（①ステップアップ事業、②モデル事業）。
- ・平成 31 年度（令和元年度）SB マークの 2 種（①ステップアップ事業、②モデル事業）の申請の簡略化と裾野を広げるための方向性を提案し、ソーシャルビジネス推進委員会（以下 SB 推進委員会）で諮った結果、以下の方針となった。

（SB 推進委員会での意見）

- ①SB マーク認証（ステップアップ事業）は SB 推進助成採択団体の特典とする。
- ②SB マーク認証（モデル事業）は申請方式から推薦方式に切り替える。

2. KOBE ソーシャルビジネスマーク認証に関する要綱の改正について

この度、平成 31 年度 SB 推進委員会での意見を尊重し、SB マークの要綱を改正する。

（1）改正趣旨

- ①ステップアップ事業は SB 推進助成採択団体の特典とする。

これまでの制度では、SB 助成（準備・創業期）と SB マーク認証（ステップアップ事業）に採択されるためには、各々申請書を提出する必要があり、申請者の負担になっていた。

本制度改正により、SB マーク認証（ステップアップ事業）において、申請方式から SB 助成の採択特典とすることにより、SB マーク（ステップアップ事業）の取得希望者の負担軽減を図る。

また SB 助成の採択特典として SB マーク（ステップアップ事業）の使用を認めることによって、マーク使用ができる対象団体数を広げる。

上記 2 点により、SB マーク、ひいては神戸市におけるソーシャルビジネスの認知度向上を図る。

- ②モデル事業は申請方式から推薦方式に切り替える。

SB マーク認証（モデル事業）において、これまでの申請方式から推薦方式（※）とすることで、SB マーク（モデル事業）取得希望者の負担軽減を図る。

また、ソーシャルビジネス推進事業について、専門的な見地から幅広い意見を求めることを目的とした SB 推進委員会の委員から推薦を受けた団体を神戸市が認証することにより、神戸市におけるソーシャルビジネスの「ロールモデル」を創出する。

※ SB 推進委員会委員または神戸市（企画調整局長）からの推薦により、SB 推進委員会の意見を尊重し、神戸市が認証団体を決定する。

KOBEソーシャルビジネスマーク認証に関する要綱

令和2年4月1日
企画調整局長決定

(目的)

第1条 この要綱は、現在、顕著化しているさまざまな社会的課題に対して、NPOや事業者の方々が事業性を確保しつつ継続的に解決していこうとする取組みである「ソーシャルビジネス」の中で、神戸市内で先進的に実施されている事業を認証する「KOBEソーシャルビジネスマーク認証」制度を実施し、これらの事業を広く紹介することで神戸市におけるソーシャルビジネスの推進を図ることを目的とする。

(認証事業の種類)

第2条 本要綱に定める「KOBEソーシャルビジネスマーク認証」事業はステップアップ事業及びモデル事業の2種類とする。

2 「KOBEソーシャルビジネスマーク」は、本要綱に基づき認証された事業にのみ使用できるものとし、使用方法等については別に定める。

(ステップアップ事業の認証)

第3条 ステップアップ事業の認証は、「神戸市ソーシャルビジネス推進助成に関する要綱」第13条第1項により採択を受けた助成事業に対し行うものとする。

(モデル事業の認証)

第4条 モデル事業の認証は、次の各号に掲げる者の推薦に基づき、市長が決定する。

- (1) 「神戸市ソーシャルビジネス推進委員会開催要綱」第2条に基づき委嘱又は任命された、神戸市ソーシャルビジネス推進委員会委員
- (2) 企画調整局長

(認証期間)

第5条 第3条に掲げるステップアップ事業の認証期間は、認証の日から2年を限度とする。

2 第4条に掲げるモデル事業については、認証期間を定めないものとする。

(認証事業の取消し)

第6条 市長は、認証事業が以下の各号に該当するときは、認証事業決定の取り消し又は認証期間短縮を行うことができる。

- (1) 虚偽の申請、その他不正の行為により、認証事業決定を受けたとき。
 - (2) 認証事業の内容が大幅に変更となり、本要綱の目的や審査基準等に合致しなくなったとき。
 - (3) 認証事業を行わなくなったとき。
 - (4) 法令を遵守しなくなったとき。
 - (5) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条に定められた暴力団または暴力団と密接な関係のある団体となったとき。
 - (6) 政治的、宗教的活動を行ったとき。
 - (7) その他、この要綱又はこれに基づく指示に違反したとき。
- 2 認証事業が前項第3号に該当するときは、認証事業を行う事業者（以下、「認証事業者」という。）はその旨を市長に報告しなければならない。

(更新手続き)

第7条 第3条に掲げるステップアップ事業を行う認証事業者が認証期間の更新を希望するときは、別

に定める様式により、1月前までに市長に申請しなければならない。

2 市長は前項の申請を受け、申請内容について次の各号のいずれにも該当すると認めるときは、認証事業の更新を決定し、認証事業者に通知する。

- (1) 認証後、事業性を確保し、計画どおりに継続して認証事業を行っていること。
- (2) 認証事業の更新を希望する期間においても、事業性を確保し、継続して認証事業を行うことが見込まれること。
- (3) 法令を遵守していること。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条に定められた暴力団または暴力団と密接な関係のある団体でないこと。
- (5) 政治的、宗教的活動を行っていないこと。

3 前項により、更新する回数は2回を限度とし、認証する期間は、第5条第1項に掲げる期間とする。

(成果の普及)

第8条 市長は、認証事業についてインターネット等を活用して、市民に情報提供することにより、啓発・広報に努めるものとする。

(免責)

第9条 市長は、認証事業の実施に関して、認証事業者、専門家及び第三者に損害が生じた場合、その責任を負わないものとする。

2 この要綱に基づく認証は、認証事業に係る商品やサービスそのものの優位性及び認証事業者の活動の全般の正当性を証明するものではないものとする。

(その他)

第10条 この要綱の実施に必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成24年8月13日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年3月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年12月2日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年6月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年6月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

令和元年度 KOBE ソーシャルビジネスマーク認証団体

毎年、市内で先進的に取り組んでいるソーシャルビジネス事業を認証しています。

令和元年度認証事業



モデル事業: ビジネスモデルとして確立され安定的に取り組まれている事業

団体名	事業概要
特定非営利活動法人 神戸西助け合いネットワーク	高齢者・障害者をはじめとする地域住民に対し、生活支援・安全活動・子どもの健全育成・環境保全及び福祉に関する事業を展開。

*団体名・事業概要は認証当時の内容です。

※令和2年度における KOBE ソーシャルビジネスマーク認証（モデル事業）については、煩雑な申請書類の省略と採択基準の緩和を目的として、自薦から推薦への変更を実施した。
（詳細については、別紙1のとおり）

令和2年度 神戸市ソーシャルビジネス推進助成（準備・創業期）[※1] 採択団体一覧

（申請 14 団体 採択 4 団体）

事業名	団体名	事業内容	採択額
ハロトコ	株式会社 Daft	新型コロナウイルスの影響を受けている飲食店・美容店などに対し、初期費用/固定費無料で、お店の商品やサービスを、チケット制で販売する WEB サービスを提供する。	500,000
一般社団法人 プラチナ人材活躍推進機構	一般社団法人 プラチナ人材活躍推進機構	定年退職した健康な高齢者の新たな生きがいをづくりと、人手不足の解消を目的とした、健康な高齢者の経験とキャリアを生かした短時間の就労による年金の補填、余暇を生かした社会貢献行動における生きがいをづくりを実施する。	500,000
～国内外から訪れたい町、神戸へ～ 体験型ツアーによる観光客誘致事業	株式会社 ビートラベル	少子高齢化による旅行者数の減少による消費減少という課題に対し、外国人観光客誘致による消費促進、町の活性化を行うため、神戸市を中心とした兵庫県内のローカルツアー販売に特化したウェブサイトを作成・運営する。	500,000 (※2)
フードロス対策事業	一般社団法人 神戸活性化支援機構	規格外野菜、売れ残り野菜の廃棄ロスが生じているという課題に対し、シェアサロン型の加工場を開設し、道の駅・EC サイト等での販売を行う事業を実施する。	500,000

※1 対象：市内で行われるソーシャルビジネスのうち、令和2年4月1日から1年以内に開始する、または開始から概ね2年以内の事業であること。

※2：(株) ビートラベルについては、複数年度コース採択のため、1年目（令和2年度）については300,000円を助成する。

●令和2年度より、KOBЕ ソーシャルビジネスマーク認証（ステップアップ事業）について、ソーシャルビジネスマークの普及を目指すことを目的とし、ソーシャルビジネス推進助成の採択団体（事業）の特典として付与することとなった。

令和2年度 神戸市ソーシャルビジネス推進助成【追加募集】(準備・創業期) [※3] 採択団体一覧

(申請 14 団体 採択 3 団体)

事業名	団体名	事業内容	採択額
ウェブサイト 「神戸おいしいマルシェ」 運用プロジェクト	神戸おいしいマルシェ 実行委員会	緊急時(コロナ禍等)において、飲食店の宅配情報の収集・拡散実績を構築する必要があるという課題に対し、飲食店の情報発信と市民の情報収集の利便性向上を目指し、非常時の情報に特化したポータルサイトの構築、運用、広報プロモーション事業を実施する。	500,000
And. e(アンデ)	株式会社 インブルーヴ	①零細規模の国内ニット製造業態の衰退(大手製造業への一極集中) ②コロナ禍の経済打撃から来る障がい者(施設)の受諾作業量の減少 ③愛玩動物の殺処分問題や野良猫の繁殖 という課題に対し、 ①工業ニット 製造業に携わる人に対し、粗利益をあげる生き残りモデルを提案する ②障害者(就労継続支援事業所)に対し、自分の得意を活かせる仕事を提供する ③商品売上の5%を動物愛護団体等に寄付する事業を行う。	500,000
はっぴー教育事業 「おせっかいラボ」	株式会社 Happy	①不登校児童生徒の自己肯定感の欠如、②海外在住の日本人学校児童生徒の学びの機会減少、③コロナ禍に伴う高齢者の他者との関わり機会の減少という課題に対し、不登校児童生徒、海外在住の子ども、高齢者に対し、オンライン上に多様な世代が相互に学び合う場を提供する。	500,000

※3対象：市内で行われるソーシャルビジネスのうち、令和2年4月1日から令和3年3月31日までに事業を開始する、または令和2年4月1日時点で開始から概ね3年以内の事業であり、下記①、②いずれも満たす事業。

- ① 「新しい生活様式」に対応したサービス提供や商品開発に係る事業
- ② 国、兵庫県、神戸市が発表する新型コロナウイルス感染症防止対策やガイドラインに従って実施する事業

●令和2年度より、KOBE ソーシャルビジネスマーク認証(ステップアップ事業)について、ソーシャルビジネスマークの普及を目指すことを目的とし、ソーシャルビジネス推進助成の採択団体(事業)の特典として付与することとなった。

ソーシャルビジネスセミナー

No	年度	日時	タイトル	ゲスト	参加者 (視聴者)	主催・共催等	タイアップ先
—	R1	3月19日(木) 18:00~20:00	神戸ソーシャルビジネスセミナー ～地域団体によるソーシャルビジネス ・コミュニティビジネス事例～ ※オンライン開催	・東 良太氏 (島根県中山間地域研究センター主任研究員) ・小田ちさと氏 (えーひだカンパニー株式会社取締役)	41名	共催	日本政策金融公庫 NPO法人しゃらく
1	R2	10月10日(土) 19:30~21:30	～神戸ソーシャルビジネスオンラインセミナー～ 英国・カナダから学ぶwithコロナの NPO・ソーシャルビジネス ※オンライン開催	・西脇 亜矢子氏 (Japan Cultural Activities Sutton 副代表) ・二木 泉氏 (カナダ・高齢者施設レクリエーションワーカー)	35名	共催	日本政策金融公庫 NPO法人しゃらく
2	R2	3月20日(土) 14:00~15:30 【予定】	～神戸ソーシャルビジネスオンラインセミナー～ 地域団体によるソーシャルビジネス ・コミュニティビジネス事例～ ※オンライン開催	・小山 弘美氏 (関東学院大学社会学部准教授)	—	共催	日本政策金融公庫 NPO法人しゃらく

大学等への出張セミナー

No	年度	日時	企画名	内容	会場	参加人数 (人)	ゲスト
1	R2	10月5日	ソーシャルビジネスセミナー ～高校生・大学生へのセミナー等～ 「大学生ライターによる神戸のソーシャル ビジネス取材企画With起業ブラザひょうご」	神戸のソーシャルビジネスに携わる若手起業家 に学生が公開インタビューし、ウイズコロナ時代の 留学やキャリアアップ、就職について生活はどう なっていくのかを考える。 ※起業ブラザひょうごとの連携企画。	起業ブラ ザひょうご	18	・(株)With The World 五十嵐駿太 ・(株)Compass 大津愛

神戸 ソーシャル ビジネス セミナー

地域団体による
ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス事例

2021
3/20 (土)
14:00~15:30

会場 **オンライン (Zoom)**

社会課題の解決に向けて
自立的・持続的に提供されている事業

神戸ソーシャルビジネスセミナーは、「これから神戸でソーシャルビジネスを立ち上げたい」「すでに立ち上げているが学び直したい」「まずはソーシャルビジネスがどんなものなのかを知りたい」という方々を対象に、ソーシャルビジネスを知り、学ぶための講座です。

主催: **JFC** 日本政策金融公庫 × **NPO** Non-Profit Organization 認定NPO法人しゅらく × **T** 神戸市



自治と協働からみた現代コミュニティ論
—世田谷区まちづくり活動の軌跡—

小山 弘美 先生 (こやま ひろみ)

関東学院大学 社会学部 准教授

専門は都市社会学。研究テーマはコミュニティ論やまちづくりであり、特に地域の中の町内会などの地域住民組織と市民活動・NPOおよび行政との協働について研究。主なフィールドは東京都世田谷区であり、「自治と協働からみた現代コミュニティ論—世田谷区まちづくり活動の軌跡」(2018年)を刊行。一息の得として主婦だったが、子育ての孤立を地域で解決できないかと考え、2008年に首都大学東京大学院に入った。



参加申込書

お問合せ及びお申込み先

NPO法人しゅらく 小幡行

FAX:078-735-0164

E-mail
sharaku@123kobe.com

お名前		
団体名・役職	※所属があればご記入ください。	
連絡先	TEL	FAX
	E-MAIL	
これから 取組みたいこと		

○申し込み人数が定員に達した場合は早急に受付を終らせていただく場合もあります。ご了承ください。
○お名前・ご連絡先等の個人情報は、本セミナーにかかる連絡のみに使用させていただきます。

お申し込み締め切り **2021年3月18日(木)まで**

支援メニューの
ご案内

日本政策金融公庫
神戸市

民間金融機関の取組みを補助し、ソーシャルビジネスに取組みの方々を支援する政策金融機関です。
申請段階から認定段階まで助成金や先進事例の紹介などソーシャルビジネスを継続的に支援をしています。

このセミナーは日本政策金融公庫、NPO法人しゅらく、神戸市の3者の共催で実施します。

令和2年度 神戸ソーシャルブリッジ 個人プロジェクト 支援先団体一覧

※2020年春夏チャレンジは新型コロナウイルスの影響で中止。代替プロジェクトとして、1人もしくは少人数による支援を臨機応変に実施した。

番号	団体名	団体の活動概要	支援内容	実施期間
1	認定NPO法人まなびと	誰もが当たり前で学ぶ気持ちを手に入れられる地域の学び場づくりに取り組んでいる団体。放課後の子ども達の居場所、学習支援教室、在住外国人の方向けの日本語教室、少人数の学童保育などを運営している。	新型コロナウイルスによる休校措置を受けて、オンラインを使った家庭学習の支援や生活支援を開始した。その際、スタッフが映像や音声から意図せずに家庭の状況を知ってしまう可能性があるため、「保護者向け参加同意書」や「スタッフ向け運営ガイドライン」などの整備を行う。	R2年5月～6月
2	NPO法人ふおーらいふ	学校へ行かない子どもたちの学び支援として、フリースクールを運営。現在は小学生から高校生15名程度の子どものための学習支援を行う。	従来、生徒の活動状況や職員の日報といったデータの「記録・保管・共有」は紙で実施してきた。今回、新型コロナウイルスへの対策として始めた在宅ワークをきっかけに、上記データのデジタル化を進める。プロジェクトでは具体的な方法の提案、導入サポートを行う。	R2年7月～8月
3	NPO法人インターナショナル	「誰もが自分らしく多様性あふれる未来へ」を理念に、誰にとっても身近な食を起点に活動している団体。食の視点から多文化共生や多様性について楽しく学べる出前授業や、災害時の避難所で孤立しがちな外国人や障害者などに向けた「避難所コミュニケーション支援ツール」の開発を実施。	団体にとって代表的な取り組みで、かつ事業収益の多くを占めていた「フードピクト」事業を独立させた結果、新たな支援者や関係者といかにコミュニケーションをとっていくかが課題となっている。そのような人と継続的な関係性をつくり、寄付や運営に参加してもらうためのコミュニケーションプランを検討する。	R2年7月～8月
4	自治会を支援する会・西須磨	規模が小さく、短期間で役員が交代する自治会を支援することで、「暮らしやすいまち」づくりを継続することを目的に設立。自治会から独立したボランティア団体として、自治会が円滑に機能するための仕組みをつくる活動を実施。	自治会運営の知恵や仕組みを見える化するために、自治会役員経験者である団体メンバーが持っている運営のノウハウや知識経験についてマニュアル化、資料化を行う。	R2年9月～12月
5	NPO法人そらしど	「どこにどんな子が生まれても、愛され受けとめられ、必要な支援が受けられる社会」を目指し、障がい児の家族を対象としたワークショップや、模擬体験付き出張講演「キャラバン隊」などの活動を実施。	団体の活動を充実させ、もう一步踏み込んだ社会課題解決をするため、短期～中長期的な計画を検討に伴う行動指針や活動計画書策定の支援を行う。	R3年1月～3月

参加者属性

	職種	人数
1	行政職員	1
2	企業社員	7
3	フリーランス・自営業	0
4	学生	0
5	退職者・無職・その他	3
	計	11

令和2年度 神戸ソーシャルブリッジ イベント

	日時	名称	概要	参加者
1day	2020年8月2日 14:00～15:30	地域の取り組みオンライン情報交換会	コロナ禍における地域活動のヒントとして、以下の内容を開催した。 ①オンラインツールZOOM操作方法説明 ②参加団体の情報交換会 ③オンライン活用事例紹介(他団体の取り組み状況) ※一部オンラインでも開催しました。	10団体11人

令和2年度 神戸ソーシャルブリッジ秋冬チャレンジ 支援先団体一覧

(実施期間: R2年10月10日～12月19日)

番号	団体名	団体の活動概要	支援内容
1	一般社団法人嚙下トレーニング協会	食べ物をうまく飲み込むことができない「嚙下障害」は、高齢化先進国の日本で患者数が年々増え続けている。耳鼻咽喉科専門医でもある協会の代表は、健康なうちに「嚙下障害」を未然に防ぐのどのトレーニング方法を考案し、その方法を普及するために協会を設立。	新型コロナウイルスの流行により、従来の対面でのトレーニングを行うことが困難になっている。そこで、改めてターゲットとなる対象者を設定し、その対象者に新しい生活様式の中で、どのように接点を持ち、嚙下トレーニングを知ってもらうかという広報戦略を策定する。
2	善き隣人バンク	「心から人に寄り添う」ことをテーマに傾聴活動を展開。特に孤立化する高齢者に向けて、心理カウンセリング手法である傾聴や付き添いをする事で、苦痛が軽減、解消されていくことのサポートを実施している。	「新規ホームページのコンセプト作成」を実施する。全国展開を前提に、ホームページのコンセプト作成に取り組み、団体の基盤強化や、団体として発信するメッセージの整理につなげる。
3	特定非営利活動法人Oneself	在住外国人向けに日本語支援、居住支援、異文化交流支援に取り組む団体。2015年には、新開地駅近くに大型の国際交流シェアハウス「やどかり」をオープンし、外国人留学生の住まい、技能実習生の入国直後の講習受け入れ先、外国人旅行者の宿泊先など様々な外国人の居場所として利用されてきた。	経済的に厳しい外国人留学生の自由な進学選択の一助となることを目指し、「やどかり奨学金(仮)」の企画づくりを実施。今回のプロジェクトでは特に団体・企業向けに説明でき、賛同してもらえるような企画と資料作成を行う。
4	特定非営利活動法人インクルひろば	障害を持っていても、地域でいろんなひとたちと一緒にご飯を食べたい」という何気ない願いを叶えるための「インクルカフェ」を設立。さらに現在では、子ども食堂や、お弁当の宅配、高齢者のちよつとしたお困りごとのお手伝い、うたごえ喫茶、認知症高齢者向けのカフェ、親子向けの「絵本の時間」など多様な事業を展開。	多様な関係者が利用する「ホームページのリニューアルのニーズ調査」を実施する。ホームページは団体設立時に作成されたが、当時に比べて活動内容や利用者が多岐に渡っており、すべての情報を適切に届けることができていない現状の解決を目指す。
5	特定非営利活動法人ねんりん	株式会社年輪が運営する高齢者向けのデイサービスから派生して生まれた団体。幅広いニーズに対応するためにNPO法人を設立し、障害児向けの事業として、須磨駅から少し離れた自然豊かな場所で「放課後等デイサービス事業」を実施している。	新規の拠点として活用方法を検討しているコミュニティスペースについて、放課後等デイサービスではない新たな利活用方法のアイデアを検討する。
6	架け箸	2020年2月から任意団体として活動を開始。中東「パレスチナ」にポジティブなイメージを持ってもらいたいという思いから「情報発信」「イベント開催」「フェアトレード商品開発」の3つの方法で活動を行っている。	現在発信している既存の情報やコンテンツの改善を団体と一緒に検討する。具体的には、ニーズの把握を目的に実施予定のグループインタビューに向けて、質問事項や目標の設定、提供できるコンテンツの整理などを行う。
7	NPO法人あつとオーティズム	世界的な自閉症啓発キャンペーンであるLight It Up Blueキャンペーンを2011年に日本で最初に取り組んだ団体。現在ではLight It Up Blueキャンペーンに関して、全国の協力団体・施設との連携や、広報ツールの提供・情報収集、米国本部との連携などの役割を担っている。また、自閉スペクトラム症(オーティズム)のある子どもの教育環境の改善にも取り組んでいる。	持続可能な団体運営に向けて、団体のあり方を考えるとともに、これから必要なことは何なのかを共に検討する。具体的には、「(1)活動実績の整理・見える化」、「(2)(1)を通じて見えてくるこれからの活動方針、新たな活動内容・運営方法のアイデア、団体として優先的に着手していく計画の作成」を団体と実施する。
8	神戸YWCA夜回り準備会(仮)	阪神淡路大震災を契機に、震災の翌日からYWCAが立ち上げた救援センターが活動の始まり。「野宿したくない人が野宿しなくてすむように」「野宿せざるを得ない人の人権が損なわれないように」と路上生活をしている方々の安否確認や、生活保護申請の手伝いといった活動を実施している。	これまでの活動、理念を言語化し、誰にどのような情報をどのような形で伝えればよいか5W1Hや目的の整理を行う。出てきたキーワードやキャッチコピーなどを元に、「支援者の継続参加」「支援・寄附の募集」「政策提言」などにつなげていきたい。

参加者属性

	職種	人数
1	行政職員	3
2	企業社員	26
3	フリーランス・自営業	4
4	学生	0
5	退職者・無職・その他	6
	計	39

令和2年度 神戸市「協働と参画」推進助成（テーマ別助成） 採択団体一覧

申請団体数：5団体 採択団体数：5団体

テーマ	活動名	団体名	事業内容	採択金額
①多文化共生のまちづくり	インターネットメディアを用いたベトナム語・日本語による情報発信活動	ベトナム夢 KOBE	インターネットメディアを用いて、神戸市在住のベトナム人およびベトナムにルーツを持つ人たちに、日本で生活するうえで必要な情報をベトナム語と日本語で発信する。	300,000円
	神戸ミャンマー総合サポート	ミャンマー関西	神戸市内に住むミャンマー人に対して、定例の相談会や常設の相談場所の設置により、日常生活相談支援活動を行う。	991,500円
	外国にルーツを持つ子/保護者の孤立防止事業	特定非営利活動法人 アジア女性自立プロジェクト	子どもの教育や学校生活に関する相談会や、多言語冊子を配布することで、神戸市内に住む外国にルーツを持つ子どもやその保護者の孤立を防ぐ。	357,500円
②地域資源を活用したコミュニティビジネス	青少年への多彩な体験学習機会提供事業	一般社団法人 イドミィ	山登りや川遊びなどのアウトドア体験、農業体験などの職業体験といった多彩な体験学習の機会を提供することで、体験格差の是正を目指す。	918,700円
	六甲アイランド魅力発信プロジェクト (地域活性化×食品ロス削減×飲食店支援)	六甲アイランド地域振興会	地域活性化のために全国のハロウィン実施団体をつなぐオンラインサミットを実施する。さらにそれに合わせて、菓子工場や飲食店と協力して子どもにお菓子を配付することで、食品ロスの削減にも貢献する。	1,000,000円
③新型コロナウイルスの影響で起きている地域課題の解決			申請団体無し	—

よりよい地域活動に向けて、離れていてもつながる！

地域の取り組み オンライン情報交換会

2020年
8/2
(日)

対象 神戸市内の自治会など地域団体のみなさま
定員 20団体(1団体2名まで)

参加無料
要事前申込

コロナ禍においては、地域活動も従来どおりの活動が難しい…。
オンライン活用事例や他団体の取り組み状況から次につながるヒントを得て、一歩前に踏みだしてみませんか？
オンライン情報交換会を開催しますので、みなさまのご参加お待ちしております。

こんな思いをお持ちの団体にオススメです



初めて
Zoomの操作方法
を学びたい！



コロナ禍で
他団体の取り組み
状況を知りたい！



オンラインを
活用した地域活動
の事例を知りたい！

内容

① オンラインツールZoom 操作方法説明

Zoomを使用して会議に出席する
基礎的な操作方法を説明します。

② 参加団体の情報交換会

現状の取り組み状況や活動の課題等を
参加団体同士で共有し、情報交換を行
います。

③ オンライン活用事例紹介

回覧板の代わりにオンラインで情報発信
をする等、新たな方法を取り入れながら
活動する団体の事例紹介を行います。



日程

2020年 8月2日(日) 14:00~15:30

※ 本イベントは、対面ではなくZoomを使用したオンラインのイベントです。
※ Zoomを初めて使う、接続できるか不安、という方は13:30~テスト接続確認の時間を
設けております。

申込方法 参加費無料

右のQRコードまたはURLよりフォームにアクセスし申込、または、以下の内容をE-mailにてご連絡ください。

- ① 所在区名
- ② 団体名
- ③ ご参加者氏名(1団体2名まで)
- ④ 構成世帯数
- ⑤ 役職
- ⑥ 電話番号
- ⑦ E-mailアドレス
- ⑧ Zoom接続事前テスト希望の有無

<https://bit.ly/kobe2020online>



※ お申込いただいたE-mailアドレスにZoomの接続方法説明ガイドを事前にお送りします。
※ お申込時に入力いただいた個人情報は神戸ソーシャルブリッジの実務にのみ使用します。
※ 参加費は無料です。ただしインターネット接続・通信に関する費用については参加団体のご負担となります。

運営
問い合わせ先

神戸ソーシャルブリッジ事務局
神戸ソーシャルキャンパス内
☎ 078-241-9797
✉ kobe@servicegrant.or.jp

主催 神戸市 **KOBE**
UNESCO City of Design

運営 特定非営利活動法人しやらく
認定NPO法人サービスグラント



みんなの力が未来を変える
神戸ソーシャルブリッジ

本イベントは、NPOや地域団体等と社会貢献活動を希望する人材をつなぎ、
地域社会の課題解決に協働して取り組むプロジェクト「神戸ソーシャルブリッジ」事業の一環として開催します。

令和2年度 神戸市「協働と参画」推進助成（一般助成） 採択団体一覧

申請団体数：2団体 採択団体数：2団体

コース	活動名	団体名	事業内容	採択金額
複数年度 (新規)	警報発令時における自助コミュニティの情報収集・受信力向上プロジェクト	特定非営利活動法人 エフエムわいわい	警報発令時に、日本語を母国語としない人が情報を受信する面でどのような困難があるかを調査し、その結果を地域・行政などに還元する。	269,060円
複数年度 (3年目)	児童養護施設での子どもマジックショーとマジック教室	アジア子ども基金	児童養護施設に入所している子ども達及びその周辺に暮らす子ども達を対象に、マジック教室を行うことで、子ども達に喜びや自信を持たせ、将来の自立支援、心身の健全育成の一助とする。	200,000円

令和2年度 神戸市「協働と参画」推進助成（被災地等支援助成） 採択団体一覧

申請団体数：3団体 採択団体数：3団体

活動の別	活動名	団体名	事業内容	採択金額
①	西日本豪雨復興支援「神戸から真備へ」	被災支援ボランティア団体 おたがいさまプロジェクト	場所：岡山県倉敷市真備町、神戸市内。 内容：①神戸でできる復興支援 写真洗浄&プチ防災セミナー ②写真洗浄のノウハウを後世に伝えるため、全国に写真洗浄を広めるための動画マニュアルなどの撮影を行い、youtube、HPに掲載し、アーカイブ化を図る。	451,100円
①	認定特定非営利活動法人 まち・コミュニケーション	被災地域コミュニティ再生のためのノウハウ移転	場所：宮城県（石巻市雄勝町）、岩手県、福島県、熊本県、福岡県、新潟県、北海道、石川県、大阪府、鳥取県、広島県、岡山県、愛媛県、佐賀県、長野県、茨城県、千葉県等。 内容：復興事業後コミュニティ支援活動に取り組むNPO法人や各県の住民・NPO・建築・弁護士専門支援組織等と連携し、被災地を訪問し、住まいの再建、コミュニティ支援、継続する組織運営のノウハウ移転を実施する。	500,000円
②	さとのわ	東日本大震災避難者交流会	場所：神戸市西区押部谷町木幡、神戸市内の空き家。 内容：東日本大震災からの避難者に対し、避難当事者主体の継続的な交流を実施する。また、相互協力による自立再建と他団体連携による避難・移住者支援を実施する。	250,000円

①全国各地の被災地で行政で行政や市民団体と連携し、かつ、阪神・淡路大震災の経験やノウハウを伝える活動（採択団体：2団体）

②全国各地の被災地から主に市内へ避難して来られた方を支援する市内での活動（採択団体：1団体）

令和2年度 神戸市「協働と参画」推進助成（認定NPO等支援助成） 採択団体一覧

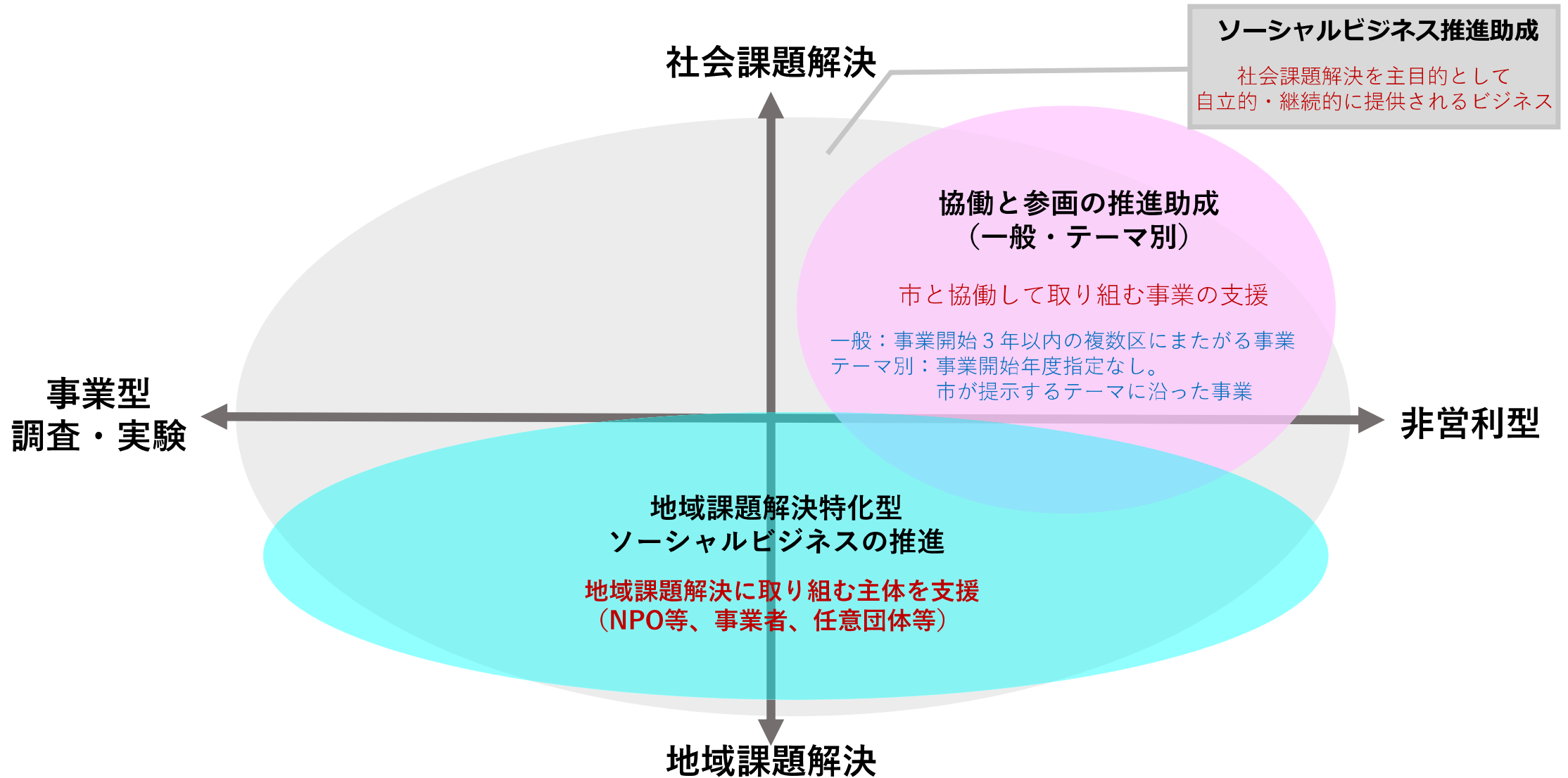
申請団体数：1団体 採択団体数：1団体

活動名	団体名	事業内容	採択金額
防災情報の発信 ～コロナ禍での工夫～	認定特定非営利活動法人 まち・コミュニケーション	①情報収集と発信を実践で伝える活動 ・次世代と共に被災地にて、聴き取り方法の習得、聴き取りの実施、情報編集する。 ②WEBサイト「被災地のつぶやき」にて防災情報の共有 ・「被災地のつぶやき」 ・「災害への備え、～命・住まい・コミュニティ～」 ③防災・事前復興まちづくりの勉強会（神戸・被災地・未災地）の開催・WEBサイトやチラシで勉強会を広報し、震災から得られた教訓を学ぶ場をつくる。	465,390円

地域課題解決型 ソーシャルビジネス推進事業

【R3年度予算：3,000千円】

地域課題解決型ソーシャルビジネス推進事業のポジショニング



令和3年度 実施事業比較

	～令和2年度	令和3年度～
SB推進助成	上限50万円×4団体 【3,241千円】	地域課題解決に特化し上限30万円 選考会謝礼 100千円 【1,000千円】
SBマーク	ステップアップ：SB助成採択事業の特典 モデル：推薦方式 【671千円】	地域課題に特化したSBマーク？ ステップアップ：SB助成採択事業の特典 モデル：推薦方式 （選考の謝礼は採択審査に含む） 【0円】
専門家派遣	SB助成採択事業の特典として 上限5万円（税込み）を補助 （専門家派遣@15万×3） 【上記SBマークに含む】	地域課題解決に特化し上限5万円 （協働コーディネート業務へ） 【200千円】
SBセミナー	仕様書上：年2回 日本政策金融公庫・しゃらく・神戸市の 共催で年3回開催 【486千円】	地域課題解決について学び・つながる場の創出 セミナー2回、ワークショップ6回 【1,700千円】

令和3年度 実施事業

《目的》

アイデアを+（プラス）することで、地域課題解決を目指す
翌年度1事業排出を目標に実施

《対象》

地域課題解決を事業化することに意欲のある事業者・NPO等・任意団体・個人

《実施内容》

①セミナー・ワークショップ開催業務【1,700千円】

セミナー開催

ワークショップの開催

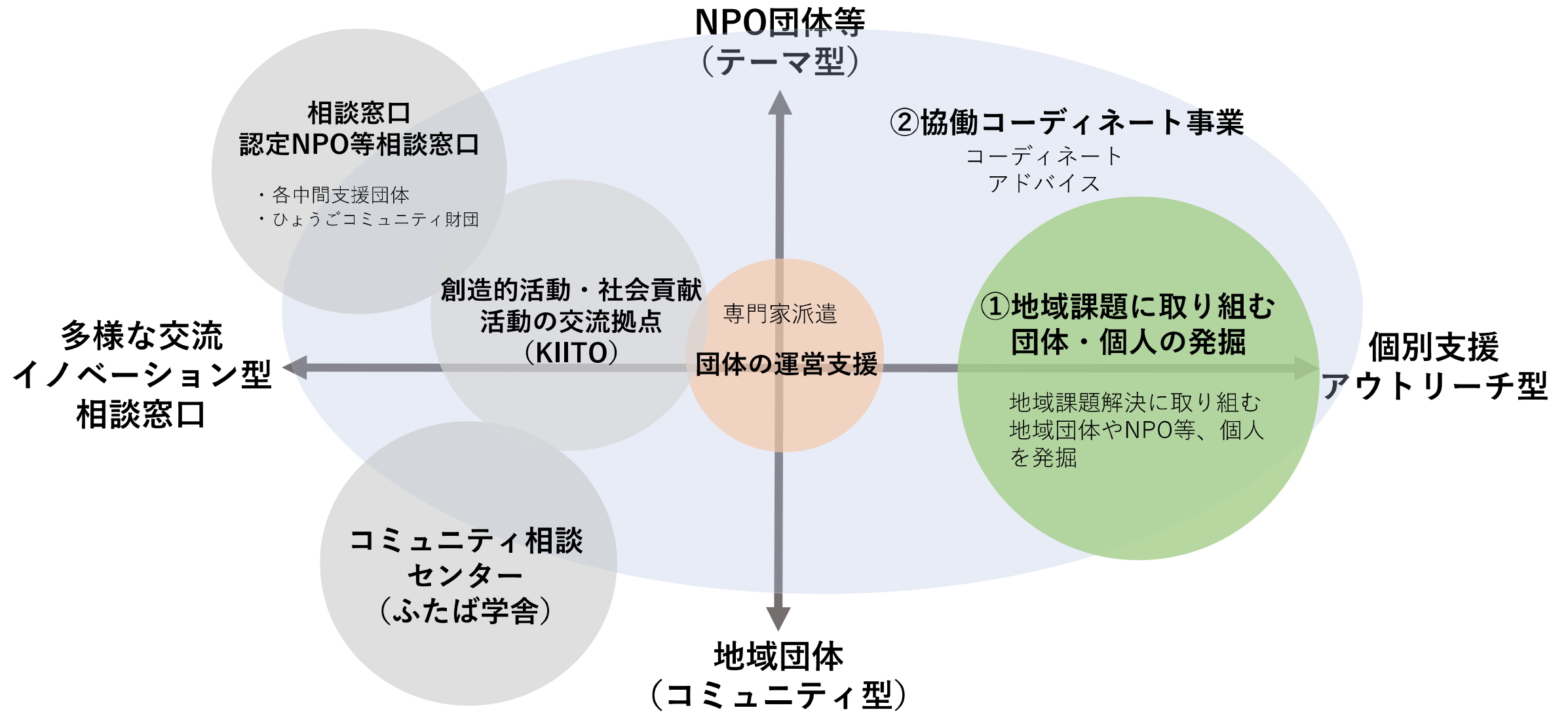
②事業実施に向けた具体的支援【1,000千円】

事業実施に向けた初期費用を支援（上限30万円の助成）

協働コーディネート業務

【R3年度予算：6,000千円】

協働コーディネーター事業のポジショニング



NPO団体等
(テーマ型)

②協働コーディネーター事業
コーディネーター
アドバイス

①地域課題に取り組む
団体・個人の発掘
地域課題解決に取り組む
地域団体やNPO等、個人
を発掘

個別支援
アウトリーチ型

地域団体
(コミュニティ型)

専門家派遣
団体の運営支援

創造的活動・社会貢献
活動の交流拠点
(KIITO)

多様な交流
イノベーション型
相談窓口

相談窓口
認定NPO等相談窓口
・各中間支援団体
・ひょうごコミュニティ財団

コミュニティ相談
センター
(ふたば学舎)

R3年度 新規事業（社会貢献活動の支援）

支援概要	具体的な対応策	協働コーディネーターの配置
1. 地域課題に取り組む団体・個人の発掘	<p>地域課題解決に取り組む地域団体やNPO等、個人を発掘し、市と調整する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題解決に取り組む団体のリサーチ ・情報共有 ・マッチング・調整 	<div data-bbox="1825 781 2395 959" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> 再委託や複数事業者の共同体も想定 </div> <p style="text-align: right;">【6,000千円】</p>
2. コーディネートによる団体の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO、企業、大学等とのコーディネート 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神戸市とのコーディネート ・ 専門家とのコーディネート 	

NPO等支援対象団体のコーディネート

団体に応じた“アドバイス”と“つなぎ”

